



≡ ミサイルよりも年金・医療・防災へ ≡

海外に派遣されるのは、今の  
 制が成り立っているから、今  
 いんでも何もしないで、今  
 だんもまた「憲法に書き  
 条「自衛隊員を守るの九  
 「かわいそるでは、その  
 に晒されるのは、その  
 「海外へ行っているが、  
 「と憲法に位置付け、  
 「から憲法はかわい  
 活動するのには、  
 憲法違反といわれな  
 安倍首相は「自衛隊員は  
 と意見交換をしようと  
 安倍改憲案をよく知  
 は、運動を進めるた  
 野田九条の会の例  
 ます、野田九条の会  
 せないと進めま  
 ます、野田九条の会  
 安倍改憲案をよく知  
 と意見交換をしようと  
 は、運動を進めるた  
 野田九条の会の例

き、憲法に自衛隊を書  
 臨時国会に出すと強  
 姿勢は変わらな  
 たちは憲法九条は  
 せないと進めま  
 ます、野田九条の会  
 ます、野田九条の会  
 安倍改憲案をよく知  
 と意見交換をしようと  
 は、運動を進めるた  
 野田九条の会の例  
 ます、野田九条の会  
 せないと進めま  
 ます、野田九条の会  
 安倍改憲案をよく知  
 と意見交換をしようと  
 は、運動を進めるた  
 野田九条の会の例

自民党総裁選が終わり  
 ました。安倍優勢の大  
 唱の中、石破氏が地方  
 の45%を獲得したとい  
 うことで、ほーとため息  
 の中に少し明るい気持  
 を持たれた方も多  
 はないでしょう。か  
 ろん自民党員ではない  
 が、とつては蚊帳の外  
 が、とつては蚊帳の外  
 が、とつては蚊帳の外

九条の会では毎月  
 頭で呼びかけをして  
 ます。別荘訪問も必  
 戸別訪問も必要と  
 見もありません。丁  
 寧な議論を通して  
 いと思ひます。改  
 絶対反対は2割、  
 は3割、残り5割は  
 から、残りの5割は  
 人達、残りの5割は  
 割の、残りの5割は  
 けなく、残りの5割は

九条の会では毎月  
 頭で呼びかけをして  
 ます。別荘訪問も必  
 戸別訪問も必要と  
 見もありません。丁  
 寧な議論を通して  
 いと思ひます。改  
 絶対反対は2割、  
 は3割、残り5割は  
 から、残りの5割は  
 人達、残りの5割は  
 割の、残りの5割は  
 けなく、残りの5割は

も可能であり、もつと  
 安易に海外派兵が行  
 るようになるだけ  
 等々時間が足りない  
 らいでした。  
 また、20日に北  
 ミセンで開いたおし  
 べりカフェは13人  
 参加で賑わいました。  
 大学生や主婦の方  
 は、同年代の仲間  
 で憲法の話は多く  
 知らないと、年配  
 話され、専門的な  
 から、憲法と自衛  
 持論の憲法と自衛  
 話など多岐にわた  
 した。日頃年代や考  
 方の似た者同士だ  
 の話では聞けない  
 を聞ける場です。ご  
 加ください。

議論で  
**憲法改憲はNO!**  
 と示そう!

**今月の予定です**  
 皆さん 気軽に参加ください。

**10月7日(日) 13:30~16:30**  
 スクープドキュメント「沖繩と核」  
無料上映会&ディスカッション  
 2016年アメリカが「沖繩に核兵器を配備していた事実」を認め機密を解除。冷戦下の沖繩の新事実をドキュメントした番組を見て語ります。  
 南部梅郷公民館 南地域九条の会

**10月9日(火) 16:00~17:00**  
 9の日 行動  
**模擬国民投票と九条通信配布**  
 梅郷駅 西口 野田・九条の会

**10月13日(土) 13:00~16:00**  
 野田・九条の会 「改憲の危険性を市民にどう語っていくか」を10月例会 話し合います。  
 櫛のホール 研修室 野田・九条の会

**10月19日(水) 14:00~15:00**  
 9の日 行動  
 若者と対話 雨天の場合は運河駅  
**模擬国民投票と九条通信配布**  
 運河ふれあい橋 理科大側 野田・九条の会

**10月25日(木) 14:00~16:00**  
 ちよつと硬派な おしゃべりカフェ  
政治や憲法のこと気軽に おしゃべりしませんか  
 レストラン「紙ふうせん」 野田・九条の会

**10月27日(土) 13:30~16:30**  
 DVD 上映とディスカッション  
 「自由はこうして奪われた 治安維持法10万人の記録」  
 中央公民館 講座室 子どもの未来を語る会

**10月29日(月) 16:00~17:00**  
 9の日 行動  
**模擬国民投票と九条通信配布**  
 川間駅 北口 野田・九条の会

## 署名の一筆が大きな力に

**東海第2原発**

**20年延長を止めよう!**

東京から100キロと近く、30キロ圏内には96万人が居住しています。過酷事故になったら避難は不可能です。東海原発に溜まる原爆5000発分の死の灰は処分先がありません。耐震基準は40年前の古く甘い設計です。3・11の時は停止に3日半もかかりました。稼働が迫る11月まで反対の署名を一筆でも多く集めましょう。

**安倍九条改憲 NO!**

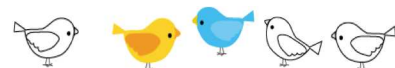
3000万の声を届けよう!

**3000万人署名に取り組もう**

憲法に自衛隊を書き込んだら、安保安法制に基づいて米軍と共に他国で戦争することになってしまいます。安倍首相がいう1、2項を残しても後で書き込んだ条文の方が強い効力を持つことになるのです。自衛隊を書き込めば、戦争放棄は空文化し、戦争は合憲となってしまいます。いま憲法を変える必要はないという私たちの声を皆んなで署名用紙に記しましょう。

署名された用紙はこの九条通信をお届けしている担当者にお渡しください。また用紙はご連絡いただければお届けします。  
 ☎ 0471 29 4297 田口





# 私たちの暮らし、社会がどうなるのが良いかを

■ **先の見えない不安** このところ何か先の見えない感覚を覚え考えてしまいます。仕事を懸命にし、子育て、また介護などしながらも考えるのはやはり私たちの暮らしには政治が大きく関わっているのだなということなのです。ここへきて報じられる身内への優遇、不都合なことは隠し通す、自分の思いは権力の示威で強引に為すなど、頭に残り消えないことが多々あります。

このことは安倍政権の関わりで多くなっているのではとつくづく感じます。

■ **安倍政権では先が見えない** 9月12日ロシアのプーチン大統領は安倍首相に突然前提条件なしの平和条約締結を提案しました。ロシアと領土をどうするかの問題ですが他の外交問題も課題が多く先が見えません。南の方では中国との尖閣問題があり、沖縄の知事選は米国との辺野古新基地問題が焦点になっています。隣国の北朝鮮とは拉致問題、また米朝会談で朝鮮戦争が終結すれば戦後補償問題もあり、韓国とは竹島の所属、従軍慰安婦問題がいまだ燻っています。これらはいずれも解決へ先が見えていません。国民の暮らしには直接影響していないように見えますが、そうであったとしても問題を解

決しなければならないことに変わりありません。

■ **いま何が大切かを話しましょう** 北方領土問題で安倍首相は思いもよらぬ提案をされ面食らって即妙な反応ができませんでした。衝撃は相当なものであったのでしょうか。

昨年の憲法記念日に私たち、言いかえれば主権者という立場にいる国民は衝撃的な言葉を安倍首相から投げかけられています。しかし、この時国民は冷静でした。首相は「自衛隊を憲法九条に明記する」と、とある会合で言ったのです。行政府の長には憲法の擁護義務があり、発議できるのは立法府、国会です。行政府のトップにあるものが心得違いをし、唐突に改憲すると言い出したのです。

言いたいことや聞きたいことがいっぱいあります。先の見えないものは何なのか、いま何が大切かを皆んなで話しましょう。お話しはこの九条通信の「今月の予定です」のところで自由に行えます。ぜひお越しください。毎月9の付く日は駅頭などで1時間程度、九条通信をお渡ししながら市民の皆さんとお話しをしています。それぞれの都合で気軽に参加ください。



の代表者ではない」と突き放している。

審査の過程でも政府は、「沖縄の人々は日本国民としての権利を全て保証されている」と強調し、辺野古移設を進めることが基地負担軽減になると強弁していた。国土面積の0.6%しかない沖縄に在日米軍専用施設面積の70%が集中し、米軍絡みの事件、事故が相次ぐ状況は、まさに異常である。他の46都道府県のどこにあるだろうか。安倍晋三首相は2月に、沖縄の基地の県外移設が実現しない理由について「移設先となる本土の理解が得られない」と発言した。戦後70年余も米軍基地に反対し続けてきた沖縄の訴えには一切耳を貸さず、本土の「民意」にはすぐに理解を示す。これを差別と言わずして何と言おう。(琉球新報 社説9月3日より抄出)

### ==== いま沖縄の声 =====

## 米軍基地の沖縄集中は差別

国連人種差別撤廃委員会が、米軍基地の沖縄集中を差別の根拠としてあげ、沖縄の人々の権利を保護するよう日本政府に勧告した。政府は勧告を受け入れ、直ちに辺野古の新基地建設を断念し、沖縄に対する差別政策を改めるべきだ。国連の勧告は沖縄の人々を先住民族と認め、米軍基地に起因する米軍機事故や女性への暴力が多発していることに懸念を示した。加えて「女性を含む沖縄の人々の安全を守る政策をとる」、「加害者が告発、訴追されることを保証する」などの取り組みを日本政府に求めている。だが、政府の反応は冷淡だ。今回の勧告を受け、官邸筋は「国連の委員会といってもメンバーは各国